

Estuary 057



エスチユアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチユアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

展示資料のひみつ

テーマ展
資料館のお宝2019
で展示中!(3月末まで)

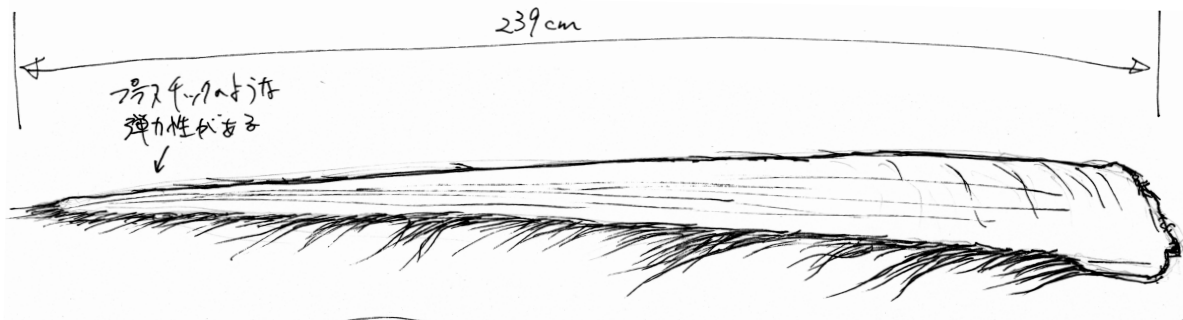
■セミクジラのヒゲ板

Eubalaena japonica

鯨偶蹄目 ヒゲクジラ亜目 セミクジラ科

採集日：2018年7月

採集地：北海道根室市落石



セミクジラ (NOAA)



こちら側がケバだっていて
まるで髪の毛、フサフサしてる。
これでプランクトンを絡めとる。

★こんなのが
左右各200本以上
生えている!!
(これは左の19番目)

上顎に付く部分。
厚みもあり、
木の板のように硬い。

「ヒゲ」なんて言うけど、そんな生易しいものじゃない。まさに「板」。これで思いっきり叩かれたら、間違いなく大ケガします。

ナガスクジラやミンククジラなどヒゲクジラ（髯鯨）の仲間には、口に歯がない代わりに上顎から何百本もの「ヒゲ板」が生えています。海水ごと小魚やプランクトンを丸呑みし、このヒゲの列でエサだけを濾しとるのです。毛髪や爪などと同じような成分、ケラチンでできていますが、1枚1枚に厚みがある分、かなりの硬さ。これが並んでいる状態は「巨大な櫛（くし）」と言ったほうが近いでしょう。

ヒゲクジラの中でも、特にセミクジラのヒゲ板は大きく、1枚の長さが2m以上あります。適度な弾力性もあ

るため、プラスチックが登場する以前は、いろいろな道具・材料として利用されてきました。傘の骨、コルセット、釣竿、からくり人形のバネ、などなど。今でも文楽人形を作るときにはこのセミクジラのヒゲでないとダメだそうです。

セミクジラはかつて世界中で乱獲され、現在は地球上に1000頭くらいしか生息していないとされています。このヒゲ板は、2018年に根室市に漂着した死体から採取されたものです。根室市自然と歴史の資料館、北海道大学水産学部、北海道博物館のご尽力によって、入手できたものです。◆

(志賀健司 しがけんじ)

ウミヘビの神様

11月、市北部の厚田・浜益でお寺の調査に同行しましたが、その際に興味深い御神体が見つかりました。「ウミヘビ」の神様です。

外側は木製の小さな祠の形をしており、社の壁部分がガラス張りでその周りを布で覆われており、その一面から中の御神体、ウミヘビの姿を見ることができます。

祀られているのは「セグロウミヘビ」という蛇です。セグロウミヘビは海生の毒蛇です。名前の通り背中側は黒く、お腹側は黄色です。体長は50～80cmと比較的小型ですが、猛毒を持つ非常に危険なウミヘビで、日本近海でも見られます。

このセグロウミヘビですが、皆さんもよく知る島根県の出雲大社では神様として祀られています。出雲地方では古くからウミヘビが海流等によって海岸に打ち上げられた際に、「龍蛇」として出雲大社に奉納するとともに、民家でも神棚に祀る習慣があったそうです。現在でも出雲大社で行われる神在祭では大国主大神の使い、八百万の神の先導と信じられ、祝福をもたらす「龍蛇さま」として現在でも篤く信仰されています。

漁業が生活を支えていた石狩において、人々は海上安全、豊漁祈願を日々祈ったことでしょう。ウミヘビの神様はそんな人々の願いを知ることができる証拠と言えるのではないのでしょうか。◆

(坂本 恵衣 さかもとけい)



祠の中に収められた御神体。



背中が黒色、腹が黄色のセグロウミヘビと判明。

石狩遺産

いしかり・まちの魅力を見つけ出せ！
by プロジェクトM

第7～8号が加わりました！

石狩市の歴史や風土、自然が織りなすストーリー、石狩遺産。伝えたい／残したい歴史や自然を、市民自らが、推薦・紹介・認定しています。2018年は11月に「石狩遺産シンポジウム」が開催され、市民グループにより2件が石狩遺産に推薦・プレゼンされました。議論の結果、めでたく2件とも認定され、石狩遺産は全部で8件に増えました。

2019年は、あなたの“イチ推し遺産”の推薦を待っています！

■石狩遺産007

石狩灯台と 周辺の風景

■石狩遺産008

花川地区の土地利用の 変遷をあらわす遺産群

プロジェクトM石狩遺産ホームページ↓
<https://ishikariheritage.wordpress.com/>



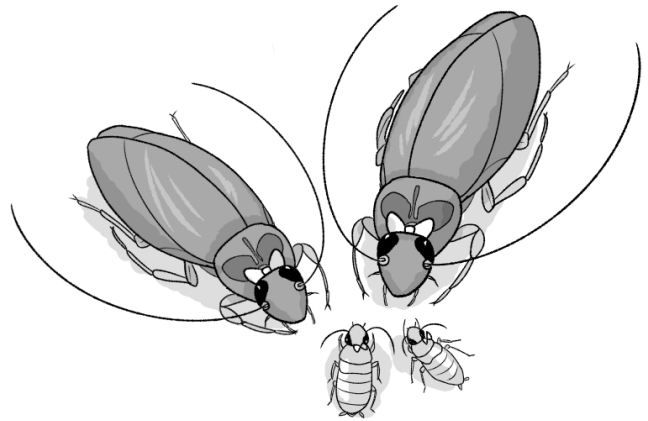
“害虫”と呼ばれて

“ゴキブリ” この単語を聞いただけで震え上がる人々が大勢います。本州以南のほぼ全ての人々です。ゴキブリ自体は毒も針もないありふれた昆虫ですが、その見た目や立ち振る舞い、不衛生な場所を通ることによって持ち込まれる病原菌などのせいで、人間からは“衛生害虫”と呼ばれるようになりました。無遠慮にひとの家に入り込む習性、音もなく狭い隙間や壁を走り抜ける運動能力、なんと無作法で凶々しい生き物だろうと思うでしょうか。しかし、その実態はとってもシャイで敏感。わずかな空気の揺らぎで人の気配を察知し、あっという間に姿を消します。

さてここで、ゴキブリに関する恐ろしい事実を1つ。昆虫はふつう、オスとメスが交尾をして子供を増やしますが、なんとゴキブリはメスだけでも繁殖できることが研究によってわかりました（産まれてくる子ゴキブリは全て母親のクローンです）。しかも、近くに別のメスが2匹、3匹といると、より一層卵を産むスピードが速くなることも。北海道大学の某研究室で飼われているメス

ゴキブリだけの飼育ケースも、今年で丸4年が経ちましたが、いまだに元気いっぱい個体数を維持しています。「ゴキブリは1匹みたら30匹いると思え」を改め、「メスなら1匹が30匹に増えると思え」とするべきでしょうか。◆

（堂前 愛 どうまえまな）



★サケをくわえるクマ★

北海道土産といえば、木彫りのサケをくわえる熊が有名ですが、近年は手にする人も少ないようです。それでも、骨董市では小さめのモノがカワイイと人気復活で、高値で売られているそうです。

資料館で来館の記念に差し上げているのも、やはり



“サケをくわえるクマ”。こちらは折り紙でできています。2004年にオープンする際、入館された方に何か思い出になるものをと、当時職員だった1さんのお母様が考えてくださいました。縄文時代中期の石狩紅葉山49号遺跡からはサケを獲る仕掛けやクマの足跡の生痕化石が出ているので、まさにピッタリです。数年前にご高齢のため引退されるまで何千何百と、持ち帰り用の紙袋を合わせて作り続けてくださいました。

後を引き継いで、クマだけは作っています。手に取った方は年齢も性別も関係なく喜んでくださいますが、ときどき他の動物に間違われてしまうこともあり、日々、精進です。

クマの折り紙とともに資料館の光景も思い出していただけなのなら、作り手冥利に尽きるものです。◆

（倉 雅子 くらまさこ）

2019年 冬の講座・展示

連続講座（2週、4科目）

石狩大学博物館

開催
しました

石狩って、どんなところ？

石狩の自然と歴史を調査している学芸員4人が、最新の研究成果やトピックをわかりやすく解説する講座。今年も市内外から大勢の方が聴きにきました！

- 日時 ①②1月26日（土）、③④2月2日（土）
13:00～15:00（両日とも）
- 場所 石狩市民図書館 視聴覚ホール



1/26（土）

①石狩海辺学

地球環境と海洋生物（志賀健司）
2018年、暖かい海の生物がたくさん石狩までやってきました。その状況を紹介し、原因を考えました。



②石狩漂着物考古学

流れ着く徳利の産地をたずねる（石橋孝夫）

流れついた徳利、土器片・カマド道具、竹舟、煉瓦はどこから来たのか——漂着物の過去を紐解きました。



2/2（土）

③石狩歴史学A

厚田の龍神様（坂本恵衣）

海沿いの町で見かける「龍神様」。神様といっても色々な御神体があります。その1例をご紹介します。



④石狩歴史学B

信仰から見た厚田の歴史

（工藤義衛）

厚田の“龍神”と“稲荷”という民間信仰から海岸部の漁村と内陸部の農村のかかわりを考えてみました。



テーマ展

資料館のお宝2019

今年も貴重な資料を多数ご寄贈いただきました。感謝の気持ちを込めて展示させていただきます。

- 期間 1月9日（水）～3月31日（日）
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。
（大人300円）



開催
中!

野外講座

石狩ビーチコーマーズ
冬の海辺の漂着物



冬の季節風が運んできた海辺の漂着物を観察・採集し、それらの正体や起源を考えます。

- 日時 3月3日（日）09:00～13:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館、石狩浜
- 対象 小学4年生～大人（小学生は保護者同伴）
- 定員 20人（先着順） ■参加料 無料
- 持ち物 防寒着、長靴、帽子、ビニール袋など。
- 申込 2/1（金）～3/1（金）の間に電話で資料館へ（0133-62-3711）

3月
開催

編集後記

クジラのヒゲ。1枚があんなに大きくてあんなに硬いとは。もちろん知識としては知っていたけど、目の前で見て、さわってみないと実感できません！開催中のテーマ展では、このヒゲ板にさわれますよ！プラスチックのような弾力性も確かめてみてください。体長17mのクジラの死体からこれらヒゲ板が展示できるようになるには、大勢の人の血まみれの努力があったことも、ちょっと想像してみてくださいね。（けん）

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
- 入館料 大人：300円、中学生以下：無料
団体料金240円（15名以上）
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
「石狩温泉」下車、徒歩1分
（石狩温泉「番屋の湯」となり）

エスチユアリ No.57



2019年2月25日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/